

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成28年10月28日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年3月21日～平成28年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,253	3.2	280	△22.4	275	△35.1	217	△13.2
28年3月期第2四半期	2,184	5.8	361	5.8	425	21.6	249	38.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 192百万円 (△20.5%) 28年3月期第2四半期 241百万円 (31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	27.35	27.20
28年3月期第2四半期	31.82	31.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	5,615	4,398	78.3	556.09
28年3月期	5,500	4,441	80.7	558.00

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,398百万円 28年3月期 4,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	24.00	24.00
29年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	ー	ー	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年3月21日～平成29年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,135	16.7	768	18.8	769	8.8	450	69.4	56.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	7,959,600株	28年3月期	7,959,600株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	50,000株	28年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	7,934,328株	28年3月期2Q	7,855,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明会資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成28年10月24日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善は続いておりますが、個人消費の改善につきましては、足踏み状況が見られております。一方、英国のEU離脱問題による海外経済の不確実性の高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するA・C・Sサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画(キャンペーン)の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しながら、既存主力商品の拡充に注力いたしました。

近年より取り組んでおります非正規流通取引先※注3との契約解除の影響はありますが、第1四半期連結累計期間より、エクシードシステム株式会社を新たに子会社化したことにより、売上高は増加いたしました。

なお、A・C・Sサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で7,397軒(前期末比200軒増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,253百万円(前年同期比3.2%増)となりました。人件費の増加や研究所の本稼働による研究開発費の増加により利益面では、営業利益280百万円(前年同期比22.4%減)、前年同期の保険解約返戻金及び受取補償金計上の影響により経常利益275百万円(前年同期比35.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は217百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	1,017	46.6	978	43.4	△39	△3.8
ヘアケア	1,209	55.4	1,183	52.5	△26	△2.2
カラー剤	36	1.7	24	1.1	△12	△33.5
その他	71	3.3	225	10.0	154	216.7
売上割戻金	△149	△7.0	△157	△7.0	△7	—
合計	2,184	100.0	2,253	100.0	69	3.2

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)、エクシードシステム株式会社(連結子会社)の売上高は、金額が僅少であるため、その他に含んでおります。

2. 第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に区分しておりました「ボディシリーズ」を「スキンケア」に含めております。また、平成28年3月21日付でイノベーション・アカデミー株式会社を吸収合併したことに伴い、「その他」に区分しておりました同社の売上高を各区分に組み替えております。この結果、前第2四半期連結累計期間の売上区分の組み替えを行っております。

3. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
国内売上高	2,040	93.4	2,116	93.9	76	3.8
海外売上高	144	6.6	136	6.1	△7	△5.2
合計	2,184	100.0	2,253	100.0	69	3.2

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、AEクリアジェルの販売が好調に推移いたしました。非正規流通取引先との契約解除による売上減少を補うには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は978百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、非正規流通取引先との契約解除に伴う影響により減少しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,183百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

(カラー剤)

カラー剤商品の売上高は、計画に対し進捗は鈍化しておりますが、専任担当者が全国のA・C・Sサロンに積極的な営業活動を行い、当社のカラー剤であるRe:)>>>ナチュラルカラーの拡販に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24百万円(前年同期比33.5%減)となりました。

(その他)

その他の区分には、当第2四半期連結累計期間より、エクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

なお、MAPシステム※注4におきましては、当第2四半期連結会計期間末における契約件数が258件(前期末比7件減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は225百万円(前年同期比216.7%増)となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「非正規流通取引先」

カウンセリングを行わずインターネット等による販売を行うA・C・Sサロン、代理店を指します。

※注4「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して115百万円増加し、5,615百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して116百万円減少の3,763百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加151百万円、受取手形及び売掛金の増加86百万円、商品及び製品の増加79百万円、コマーシャル・ペーパーの償還による有価証券の減少499百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して231百万円増加の1,852百万円となりました。主な変動要因は、第1四半期連結累計期間にエクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴うのれんの増加89百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して0百万円増加の645百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加45百万円、未払法人税等の減少64百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して157百万円増加の571百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の増加120百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して43百万円減少の4,398百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加217百万円、配当金の支払による減少189百万円、エクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴う自己株式の取得による減少45百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により得られた資金を、エクシードシステム株式会社の株式の取得、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて478百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,989百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、12百万円（前年同期に獲得した資金は225百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益303百万円の計上、売上債権の減少額51百万円、仕入債務の減少額29百万円、たな卸資産の増加額80百万円及び法人税等の支払額184百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は166百万円（前年同期に獲得した資金は32百万円）となりました。これは主に、エクシードシステム株式会社の株式の取得による連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入44百万円、定期預金の払戻による収入208百万円、投資有価証券の取得による支出100百万円、定期預金の預入による支出313百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は272百万円（前年同期比80百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払額190百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成28年4月22日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,288,526	2,440,371
受取手形及び売掛金	445,962	532,373
有価証券	499,994	—
商品及び製品	467,656	546,742
原材料及び貯蔵品	18,419	27,474
その他	162,846	221,794
貸倒引当金	△3,644	△5,045
流動資産合計	3,879,761	3,763,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,490	770,918
その他	585,206	642,917
減価償却累計額	△373,757	△415,757
有形固定資産合計	981,938	998,078
無形固定資産		
のれん	—	89,866
その他	44,615	38,348
無形固定資産合計	44,615	128,214
投資その他の資産		
その他	600,082	733,866
貸倒引当金	△5,730	△7,964
投資その他の資産合計	594,351	725,901
固定資産合計	1,620,905	1,852,194
資産合計	5,500,667	5,615,905
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,661	129,431
1年内返済予定の長期借入金	—	45,839
未払法人税等	147,731	82,949
賞与引当金	104,589	103,521
その他	267,071	284,107
流動負債合計	645,053	645,849
固定負債		
長期借入金	—	120,525
退職給付に係る負債	35,465	33,223
役員退職慰労引当金	341,000	350,660
資産除去債務	26,631	31,849
その他	11,043	35,347
固定負債合計	414,139	571,606
負債合計	1,059,192	1,217,455

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,176	757,176
資本剰余金	717,107	717,107
利益剰余金	2,970,524	2,997,719
自己株式	—	△45,550
株主資本合計	4,444,808	4,426,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,326	△23,528
為替換算調整勘定	13,992	△4,473
その他の包括利益累計額合計	△3,334	△28,002
純資産合計	4,441,474	4,398,450
負債純資産合計	5,500,667	5,615,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)
売上高	2,184,585	2,253,836
売上原価	800,245	837,907
売上総利益	1,384,340	1,415,929
販売費及び一般管理費	1,023,205	1,135,737
営業利益	361,134	280,191
営業外収益		
受取利息	1,685	1,758
受取配当金	855	140
保険解約返戻金	42,384	—
受取補償金	21,542	—
雑収入	2,034	3,250
営業外収益合計	68,502	5,149
営業外費用		
支払利息	43	396
保険解約損	3,369	—
為替差損	930	9,010
雑損失	1	8
営業外費用合計	4,344	9,415
経常利益	425,292	275,926
特別利益		
投資有価証券売却益	1,431	22
段階取得に係る差益	—	27,442
特別利益合計	1,431	27,465
特別損失		
固定資産除却損	583	—
特別損失合計	583	—
税金等調整前四半期純利益	426,140	303,391
法人税、住民税及び事業税	176,420	94,368
法人税等調整額	△244	△8,002
法人税等合計	176,175	86,366
四半期純利益	249,964	217,025
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,964	217,025

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)
四半期純利益	249,964	217,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,004	△6,202
為替換算調整勘定	922	△18,466
その他の包括利益合計	△8,081	△24,668
四半期包括利益	241,882	192,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,882	192,356
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	426,140	303,391
減価償却費	35,588	36,891
のれん償却額	—	4,729
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,229	△960
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,960	△1,067
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,199	△2,241
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,499	9,660
受取利息及び受取配当金	△2,540	△1,899
支払利息	43	396
為替差損益(△は益)	997	7,683
保険解約返戻金	△42,384	—
固定資産除却損	583	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,431	△22
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△27,442
売上債権の増減額(△は増加)	146,626	51,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,390	△80,311
仕入債務の増減額(△は減少)	38,423	△29,457
その他	△60,406	△100,644
小計	490,758	170,148
利息及び配当金の受取額	2,540	1,899
利息の支払額	△43	△396
法人税等の支払額	△267,933	△184,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,322	△12,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,820	△6,898
無形固定資産の取得による支出	△5,949	△660
投資有価証券の取得による支出	△149,762	△100,192
投資有価証券の売却による収入	51,473	10,022
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	44,268
貸付けによる支出	—	△1,800
貸付金の回収による収入	—	42
定期預金の預入による支出	△224,030	△313,432
定期預金の払戻による収入	256,000	208,963
保険積立金の積立による支出	△10,753	△8,079
保険積立金の解約による収入	135,389	3,771
その他	△9,467	△2,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,078	△166,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	—	△77,883
リース債務の返済による支出	△3,380	△4,678
配当金の支払額	△188,337	△190,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,717	△272,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△518	△26,394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,164	△478,548
現金及び現金同等物の期首残高	2,094,601	2,467,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,159,766	1,989,320

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。